

下京区西部エリアの活性化を目指す検討会議

第5回 議事次第

日時：平成24年12月20日（木）

午後3時～

場所：龍谷大学大宮キャンパス清和館3階ホール

1 開会

2 議題

(1) 第4回検討会議のワークショップのまとめ

(2) 意見交換

- ・ 全3回のまちあるきの総括
- ・ エリアの活性化に向けて

(3) その他

3 閉会

<配付資料>

- **資料1** 委員名簿
- **資料2** 第1回・第2回・第3回まちあるきワークショップのまとめ
(第1回：P1～5, 第2回：P6～11, 第3回：P12～18)
- **資料3** 平成25年度の検討会議の活動内容等について

委員名簿

(五十音順, 敬称略)

	団体名	役職名	氏名
座長	コミュニティデザイン研究室 同志社大学大学院総合政策科学研究科	代表 嘱託講師	谷口 知弘
	梅小路活性化委員会	委員長	市村 勝
	大阪ガス (株)	京滋地区副支配人 コミュニティ室長	服部 博一
	オリックス不動産 (株)	京都水族館支配人	升本 忠宏
	京都駅ビル開発 (株)	取締役営業部長	奈倉 宏治
	京都市	下京区長	山本 耕治
	京都市	総合企画局政策企画室長	柴山 薫
	(公社) 京都市観光協会	事務局長	山崎 晶子
	(公財) 京都市景観・まちづくりセンター	事務局次長	齒黒 健夫
	京都市中央卸売市場協会	専務理事	北島 誠一
	京都市中央卸売市場第一市場	次長	林 眞佐男
	京都商工会議所	産業振興部まちづくり推進担当課長	外池 順一
	(公財) 京都市都市緑化協会	専務理事	北村 康二
	(特活) 京都・地球みらい機構	常務理事	高梨 日出夫
	京都府旅行業協同組合	理事長	山本 芳孝
	京都リサーチパーク (株)	営業開発部長	鈴川 和哉
	自治連合会 (大内自治連合会)	会長	中辻 正次
	自治連合会 (七条自治連合会)	会長	西村 為彦
	浄土真宗本願寺派 (西本願寺)	宗務所所務部<文書担当>課長・総長秘書	中井 真人
	真宗大谷派 (東本願寺)	宗務所総務部次長	徳永 誠
	(公財) 角屋保存会	理事長	中川 清生
	西日本旅客鉄道 (株) (JR 西日本)	近畿統括本部京都支社総務企画課 (地域共生) 担当課長	平野 剛
	(学) 龍谷大学	学長室課長	花崎 正順
	龍谷ミュージアム	事務部次長	太田 功

「下京区西部エリア活性化」ワーキング・グループ会議 構成メンバー

所属	職名	氏名	備考
総合企画局	政策企画室長	柴山 薫	リーダー
産業観光局	商工部長	山本 達夫	サブリーダー
建設局	緑化推進・梅小路 公園再整備担当部長	大西 功	サブリーダー
下京区	地域力推進室長	松森 敏郎	サブリーダー

文化市民局	地域づくり推進課長	籾 哲也	
産業観光局	産業政策課長	原 昭彦	
	商業振興課長	小山 幸司郎	
	中央卸売市場第一市場 次長	林 眞佐男	
	産業振興課長	武田 淳	
	観光おもてなし課長	砂川 敬	
都市計画局	都市づくり推進課長	西村 健	
	都市計画課 調整担当課長	中西 朗	
	歩くまち京都推進室 企画課長	大井 貴之	
建設局	建設企画課長	福田 敏男	
	緑政課梅小路公園 再整備担当課長	的場 靖史	
下京区	総務・防災課長	藤本 信和	
	まちづくり推進課長	西山 圭児	
交通局	総務課長	西山 真司	
総合企画局	政策企画課長	西窪 一	事務局

「第2回検討会議～まちあるき（第1回）～」のワークショップまとめ

<中央卸売市場>

魅力	課題（改善ポイント）
<p>【歴史、立地、エリアのイメージに関する魅力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市街地にある中央市場、歴史のある市場。 ・ 駅チカ。 ・ 京都の食文化を支えている。 ・ 映画のセットのような昭和の街路風景。 ・ 何か発見できそうなイメージ。 ・ プロのエリア。 ・ 日本で最初にできた。 ・ 広大な敷地。 ・ スケールが大きくてセリが活況している。 ・ スケールが大きく非日常空間。 ・ ごみのポイ捨てが少なく印象と違いきれいだった。 <p>【イベントに関する魅力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ イベントが多い。 ・ 旬の食材を使った催しの開催。 ・ 月1回市場を開放している。 ・ 食祭（菜）市が素敵。 <p>【その他の魅力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 卸売市場の広い一帯が1つのコミュニティとなっていたこと。 ・ モーターの運転が面白そう。 ・ 小売りをしてもらえる。 ・ 販売物の種類が多い。 	<p>【ハード面に関する課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 安全面の確保（歩道の整備、発泡スチロール）。 ・ 雑然としていて、どこで何が行われているかわかりづらい。 →パネルの設置 ・ 卸売場の近くにある喫煙スペースの場所の検討。 ・ 毎年の改修費が多い。 ・ 匂いがきつい。 ・ 殺風景。 <p>【観光・情報発信に関する課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ セリを観光資源に。 ・ 一般人の入場制限日が多い→観光者向けのツアー。 ・ 市場周辺と協力してファミリー層・外国人向けのルート設備。 ・ 気軽に買えるような雰囲気づくり。 ・ もう少し催しを行ってもよい。 ・ 観光客が鮮魚・青果を味わえる場所を充実させる。 ・ KRP などに来場する人に向けた情報発信。

<丹波口駅>

魅力	課題（改善ポイント）
<p>【設備・機能に関する魅力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中高生向けの設備（がある？） ・ レンタサイクル ・ 駅内がきれい ・ 市場と直結している 	<p>【ハード面に関する課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者数の割に改札が少ない。 ・ 駅の南西側に入出口があれば、七条側とつながりやすいのでは。 ・ 旧千本通りへの歩道がない。 ・ 構内が狭い。 ・ 駅が高架下にあることもあって暗い。 ・ 付近案内図がない。 ・ 建物に魅力がなく、わくわくしない。 <p>【利便性に関する課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市バス利用者には不便。 ・ 昼間の本数が少ない。 ・ 電車の本数を増やせないか。 <p>【観光に関する課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ サイクリングコースを作成し、レンタサイクル利用者の増加。 ・ 水族館と連携が必要では。 ・ 歴史を感じられるものが少ない。 ・ 印象が薄い。 ・ 周辺に店が少ない。 ・ 売店やコンビニなどを開店させたら明るくなって物騒でなくなるのでは。 ・ 駅名を卸売市場があるとわかるような名前に変更すればよい。

<大阪ガス・京都リサーチパーク>

魅力	課題（改善ポイント）
<p>【ハード面に関する魅力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 伝統産業が近代建築にうまくいかされている（漆塗りのエレベーター）。 ・ 建物がきれい。 ・ 道幅の広さ。 ・ 街並みの美しさ。 ・ スタバ・TSUTAYA・レストランなど魅力的な施設の充実。 <p>【活動内容に関する魅力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 研修事業が充実。 ・ 伝統工芸を残すという取り組みをしながら、ベンチャー企業など若い企業も多く入っていて、多彩であった。 <p>【その他の魅力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 近代性がある。 	<p>【情報発信に関する課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 知名度が低い。 ・ 広報・宣伝不足。 ・ 名前が長ったらしくてわかりにくい。 ・ クッキングスクールやフィットネスクラブはあまり市民に知られていない。 ・ 伝統産業など、何か買いたいと思っても売っていない。 ・ 京都の伝統産業に子どもが触れられる機会が少ない。 ・ 見える化すべき（施設見学や体験コーナーなど）。 <p>【雰囲気に関する課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入りにくい（雰囲気などの面）。 ・ 一般人とのなじみのなさ。 ・ 地元の人が入りにくい。 <p>【利用案に関する課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 産技研の入居250社をうまく利用できそう。 ・ 「無鉛えのぐ」を染髪剤やマニキュアに利用。

<商店街>

魅力	課題（改善ポイント）
<p>【雰囲気に関する魅力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 活気がある。 ・ 雰囲気がいい。 ・ 懐かしい街並み。 <p>【人、連携に関する魅力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 熱意のある人材がいる。 ・ 対面販売の良さ。 ・ 地域・小学校と関わりがあること。 	<p>【商店街としての課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 閉店時刻が早い。 ・ 喫茶店などの、人が集まる場所が欲しい。 ・ 若者向けの商品が少ない。 ・ 何の変哲もなく面白くない。 ・ レトロさを売りにすべき。 ・ 南北格差。 <p>【人、連携に関する課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 跡継ぎがない。 ・ やる気のある人についていけない人がいる。 ・ 商店街内の意思統合ができていないと改革などできない。 ・ 市場との連携が欲しい。 ・ 水族館への期待が大きすぎる。 <p>【景観に関する課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ゴミが多い。 ・ 景観的にもっとハデな感じにできないか？明るいイメージにすべき。 ・ 街路樹（プラタナス）が汚い、芸がないので樹種の変更を。 ・ 少しさびれた箇所も目立つ。 <p>【その他の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 通行者の保護がされていない。

<全体・その他のエリア>

魅力	課題（改善ポイント）
<p>【ハード面に関する魅力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 七本松通りが歩きやすい。 <p>【コンテンツに関する魅力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 魅力のあるコンテンツがたくさんある。 	<p>【ハード面に関する課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ KRP～七条の間（交差点など）の案内看板が乏しい。 ・ バリアフリーの強化。 ・ 五条千本バス乗り場に自転車が止められていた。 ・ 緑が少ない。 <p>【雰囲気に関する課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 町全体の一体感がない（ゆるキャラ）。 <p>【集客力に関する課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ エリアの核を何にするのが難しい。 ・ 人が集う場が少ない。 ・ 市バスなどに乗っている人が寄ってみたいくなる工夫。 ・ ファミリー層や観光客が利用できる施設が必要。 ・ 若者が行こうと思う店が少ない。 ・ 食事をできるところが分散している。 ・ 混然としているのでこれを繋ぐ工夫が必要。 ・ 「京都」というブランドをもっと売るべき。例えば、コンビニの外観を木造にして和風にするとか。

「第3回検討会議～まちあるき（第2回）～」のワークショップまとめ

<梅小路蒸気機関車館>

魅力	課題（改善ポイント）
<p>【展示関連・雰囲気に関する魅力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入口を入ったらワクワク感が出てきた。 ・ 親子連れが多い。親子3世代で楽しめる。 ・ 鉄道ファン／マニアや、子どもたちにはたまらない。 ・ 鉄道ファンならずとも魅力的なスペースで、リピートが期待できる。 ・ 歴史ある展示物。D51 一号機など、歴史的価値大。 ・ 目新しい機関車が見られた。 ・ 蒸気機関車が常時運転されていること。 ・ SLの動体保存は素晴らしい。 ・ 実物の機関車の魅力と迫力。本物の迫力。 ・ 大迫力の動く機内やターンテーブル等、見どころがたくさん。 ・ 懐かしさ、ロマンがある。 ・ 旧二条駅を移築した趣のある駅舎。 ・ 説明があると、とてもわかりやすく、いつもとは違う楽しみ方があった。 ・ オンリーワンの施設。 <p>【立地に関する魅力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公園内の立地。 	<p>【ハード面に関する課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 建築を活かしきれていない。 ・ 入口がわかりにくい。 ・ もっと開放的でゆっくり、くつろいで見学できるスペースが欲しい。 ・ 京都駅からのアクセスが悪い。 ・ 七条通りを歩いていて「蒸気機関車館がある」ことがわからない。 ・ 公園の西端にあり、行きづらい。東側入り口からの誘導が不足している。 (機関車のモニュメントなど) ・ 梅小路公園からのアプローチ部分の工夫が欲しい。 <p>【展示内容・雰囲気に関する課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ マニアには面白いが、一般向けの説明が欲しい。 ・ 展示説明が少し大人対象であり、説明されないとわからない展示がある ⇒キャプションを充実して欲しい。 ・ 案内ボランティアを育成して、しっかりした説明をしてほしい。 ・ もっと知らせるべきモノ、ストーリーがあるはず。 ・ 売店を明るくきれいに。 ・ 鉄道グッズの充実があると良い。 ・ 一人では来づらい。 <p>【その他の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「蒸気機関車館」と「水族館」・・・「公園」をどのように連携？

<梅小路公園>

魅力	課題（改善ポイント）
<p>【広さに関する魅力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いのちの森や緑が多い。街中における広大な緑。 ・ とにかく広さが魅力。走り回ることが子どもにとっては嬉しいこと。 ・ 広くて開放感があり、ほっこりできる。 ・ 人が多く集まることができる。（子どもからお年寄り、散歩（犬）まで楽しめる。） ・ ゆったりとあらゆる世代が憩えるスペース。 ・ 広場は休日には家族づれでも楽しめて魅力。 <p>【にぎわいに関する魅力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人も増えた。 ・ イベントが増えてにぎわいがある。 <p>【その他の魅力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公園や、花も手入れがよくできている。 ・ 喫煙ブースがある。 ・ 園内の自販機が周囲と調和している。 ・ 五重塔、新幹線が見られた。 	<p>【ハード面に関する課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 道が歩きにくい。ブロック部分、特にベビーカーは通行しにくい。 ・ 自転車が危ない。 ・ 季節ごとに楽しめるよう草花なども増やせば面白いと思う。 ・ いのちの森はうっそうとしていて入りにくい。 ・ 広場、芝生。森にしてみても？ ・ 芝生広場以外が使い切れていない。 ・ 公園内の自販機が、景観面でも、エコロジーの観点からも残念。 ・ 自販機の規制が必要。 ・ 売店・食事処、休憩所が公園内に欲しい。 （座って緑をながめる場所が欲しい） <p>【交通に関する課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アクセスが悪い。 ・ 公園までの交通の便、駐車場が不足しているように感じられる。 ・ 水族館の通り道となっているようにも感じられる。 <p>【情報発信に関する課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公園でのイベントをもっと PR した方がよい。 ・ PR 不足。京都市民も知らない人が多い。 ・ 京都駅での案内不足。

<京都水族館>

魅力	課題（改善ポイント）
<p>【ハード面に関する魅力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ バリアフリー。 ・ 休憩所がところどころにある。 ・ 入口（エントランス）がとてもキレイ。 ・ 建物の建て方もよく工夫されている。 <p>【展示関連に関する魅力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コンパクトで楽しそう。適当な規模でかつ新たな発見がある。スポットごとに楽しめる。 ・ 大きさ、歩く時間の長さなど、小さい子どもを連れて歩くにはすべてちょうどよい感じ。 ・ 水槽の目線が低く、子どもも十分に楽しめる雰囲気。見せ方が工夫されている。 ・ 展示1つ1つが見やすいので、魚や生き物がどんな形をしているのかがわかりやすい。 ・ 開館当時より魚の種類が増えたように思う。 ・ 今まで知らなかった魚が数多く見られた。 ・ 魚など見やすい工夫がされてある。 ・ イルカショー。 ・ 淡水魚、イルカ、サンショウウオ、クラゲ希少生物など特色のある展示内容。 ・ 食材と関連した展示がユニーク。 <p>【その他の魅力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 京都市の新たな観光資源。楽しく、集客力がある。 ・ 水族館から見る公園の緑が素晴らしい。 	<p>【展示関連に関する課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 音声案内などがない。 ・ 説明スタッフをもっと利用すればよいのでは？ ・ 魚の写真だけで解説や英語の説明がない（生息場所など）。 ・ 里山ゾーンは、もう少し規模が大きい方がよい。 ・ 少し手狭な感じがする。来館者が多いときはちょっとつらい。 ・ いつ来ても混んでおり、ゆっくり楽しめない。 ・ 『京都』の強い魅力、地元「下京」を生かしたソフトがないのでは？ ・ メッセージ性が薄い。 ・ 目玉がない。 ・ エントランスが狭い。 ・ 食事スペースに乏しい。 <p>【連携に関する課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ エリアの顔としての施設をどのように利活用するか？単独ではなく連携へ。 ・ 「水族館」、「公園」、「機関車館」を繋ぐテーマがない。 ・ 人気が続くように工夫をしてほしい。何度も見ているから変化が欲しい。 ・ あの集客力を「街」でいかせないか？

<嶋原商店街>

魅力	課題（改善ポイント）
<p>【街並み・雰囲気に関する魅力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ゴミ、タバコの吸い殻がない。 ・ なじみやすく、あたたかい雰囲気を感じた。 ・ 懐かしい、昔を思い出す。落ち着く。 ・ 昔ながらの、昭和のレトロ感漂う商店が魅力。 （食堂、おもちゃ屋、和菓子屋など） ・ 歴史がある。歴史を感じる ・ 街灯がある。活かせないか。 <p>【地域に関する魅力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地元の住民と密着している ・ 地元の高齢者にとっては大切な場所になっている。 ・ 門前町として特徴のある店舗があることに気付いた。 <p>【その他の魅力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ぱっと見るとわからないが、意外と多くの店があり、面白い店もたくさんある。 ・ 旅館や外国人向けの宿泊施設があり、地域の人以外の顧客がありそうだ。 	<p>【ハード面に関する課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 電線が見苦しい。 ・ マンションは違和感がある。統一された幕やのれんなどが並ぶと一体感がでるのでは。 ・ 古い建物の外観を復活し、街並みを充実させる。 <p>【アクセスに関する課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 交通の便が悪い。 ・ 車通りで危険。歩くための環境づくり。 ・ 歩道の整備をする。 <p>【店舗・集客に関する課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 閉まっている店、住んでいない家があることにより、楽しさよりも寂しい印象。暗く、活気がない。 ・ 店舗数が少ない。活性化してほしい。 ・ 目玉になるような何かを！ ・ 人を引き付ける店、飲食が少ないので人が通るだけになっている。 ・ 商店街の風景が中途半端な感じ。古き良き時代を大切に作る古い玩具屋とか菓子舗を活かして、もっと昭和レトロにできれば面白い。 ・ 新たな店舗がほとんどない。チャレンジショップを導入しては？ ・ 呼び込むターゲットが明確だろうか？ 誰に来てもらいたいのか、はっきりしていない。 ・ スーパーにも負けない魅力の掘り起こしが必要。 ・ 大通りからお客（観光客・外部の人）を巻き込み、呼び込むアイデア、観光客を引きこむ工夫が必要。 ・ 商店街どうし、各店舗の協力が必要。 ・ 水族館の集客を生かそうという工夫があまり感じられず、少し残念。 ・ 梅小路や角屋さんとのつながりが薄い。

<角屋・島原地区>

魅力	課題（改善ポイント）
<p>【ハード面に関する魅力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 味わいのある建築物が多く、感嘆した。 ・ 大門や石畳の雰囲気が良い。 ・ 門をくぐれば昔がある街。 ・ 門が見どころ。 ・ 入ってビックリ。ロマンあふれる空間であった。 <p>【歴史に関する魅力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 角屋、歴史、貴重な文化財の魅力大でとても良い。 ・ 京都の花街について学べる貴重な場所。 ・ ここだけ見ても素晴らしい施設であり、歴史、風俗を実際に見学し、身につけられる。 ・ ストーリー、エピソードが充実。 ・ “もてなし”は京都の Keyword。そのシンボルとしての角屋さんという位置づけ。 	<p>【情報発信に関する課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 場所が分かりにくい。 ・ 交通の便が悪い。 ・ アクセス方法がわからない（何番のバスに乗ったらいいのか？） ・ 地域内にも知られていない。 ・ PR 不足。 ・ 見ごたえ充分にしては、あまり知られていない。 ・ せっかくの角屋の良さに、町を歩いていても気付けない。 ・ 価値を伝えるしくみ。 ・ 若い世代にアピールできるか？ ・ 若者を引き付ける魅力を何か出せないか？ ・ より広く、多くの方に存在を知らせる工夫が必要。 ・ 新撰組と建物の関連について、もう少し分かりやすい説明があったらよいのでは？ <p>【連携に関する課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 周りの住宅街との調和が難しい。 ・ 嶋原商店街と島原地区のつながりが見えない。 <p>【街並みに関する課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 角屋の周りがあまりに“現代的”で、残念だ。 ・ 古いまちなみを大切にすれば、人が来るようになるのでは？ ・ 今風の民家が多く、街並みが雑然としている。 <p>【その他の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 暗い。 ・ 年中開館ではない、年間を通してオープンできないか。 ・ 揚屋で遊べるならよい（体験型）。 ・ 門、角屋さん以外に見どころが見つからなかった。

<全体・その他のエリア>

魅力	課題（改善ポイント）
<p>【連携に関する魅力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現在（水族館）、近代（SL館）、過去（島原、角屋）色々な時代を体感できる。 ・ 蒸気機関車館、水族館、角屋など、時代を通したミュージアム・ツアーを作ってはどうか。 ・ 一連の施設を周遊するコースマップやセット割引があれば、地域の活性化につながるのでは。 ・ あちこちにチラシが置かれていて、地域内のお互いの施設をPRしあっている。 ・ 今日のエリアは歩いて20分程度であるから、ルートとして繋ぎたい。 ・ キーワードは“もてなし”。 	<p>【ハード面に関する課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ トイレの数が不足している。 ・ 千本通りに安全な歩道 ・ 巡回できる遊歩道が欲しい <p>【回遊性・連携に関する課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 休憩できて食べられるポイントが必要。 ・ ポイント、ポイントは楽しいが、道中が楽しくない。 ・ 西本願寺→角屋さんへの道中を楽しくできないか。 ・ 回遊を促す仕掛けがない。 ・ 個々の施設は魅力があるが、それらを繋ぐ動線が整備されていない。 ・ 連携のイメージ？ ・ 梅小路公園と地域の一体性が見られないと感じる。 ・ 新しい人の流れが、地域全体にとっての顧客になっていない。 ・ 新しいイメージのつながりをどうつくるか。 ・ エリアとして、どう捉えるかという方向性の検討が必要。 <p>【情報発信に関する課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ エリア全体として、あまり知られていない。認知されていない。 ・ まず地元の人を知ることが大切 <p>【その他の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市場の食育ポイント？

「第4回検討会議～まちあるき（第3回）～」のワークショップまとめ

<龍谷大学 大宮学舎>

魅力	課題（改善ポイント）
<p>【ハード面・雰囲気に関する魅力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 建物、意匠が美しい。 ・ 風格のある建物。 ・ 西洋様式の建物がとても印象に残るものであった。 ・ 明治時代の西洋風の学舎が珍しかった。 ・ 歴史ある洋風建築、仏教系大学とは思えない静かな雰囲気。 ・ 静かで落ち着いた空間がよい。西洋文化のおしゃれな建物のつくりがとても魅力的だった。 ・ たたずむだけで落ち着く雰囲気。 ・ 独特な雰囲気と古風な感じがよかった。 ・ 構内の雰囲気はタイムスリップした空間で素晴らしい。 ・ 街中で閑静な空間。 ・ 閑静な環境の中での歴史ある建物。 ・ 植栽も美しく、落葉もはきととのえられている。 <p>【歴史に関する魅力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 重要文化財が4ヶ所ある。 ・ 重文の校舎が素晴らしい。 ・ 近代建築、近代的価値大。観光資源としての価値も大。 ・ 下京区の歴史と共に歩む学舎として見応えがあった。 <p>【その他の魅力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 穴場（知らなかった）。 ・ 優雅、立派、すごい。ぜひ見学したい。 ・ 魅力的な建物群+グッズショップが分かりやすい場所にあった。 ・ 新しい校舎が素晴らしい。 	<p>【ハード面に関する課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 建物がきれいな分、砂利など他の景観が少し気になった。 ・ 本校舎のバリアフリー対応が不十分に思う。 ・ 卒煙ブースの有無。車の乗り入れ等、景観への配慮が必要か。 <p>【情報発信に関する課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 場所がわかりにくい。 ・ 入口の場所がわかりにくい。 ・ 自由に散策していいのかどうか迷ってしまう。 ・ 一般に入れるというイメージがなく、これまで入ったことがなかった。 ・ 一般人が立ち入っていいのかわからない。入りにくい。 ・ この場所に龍谷大学があること自体を知らない人が多いのでは？ ・ 龍谷大学の発祥の地についてはPRする。 ・ 大宮学舎の魅力を発信すべきである。 ・ 多くの人に見てもらえないのが惜しい。 ・ アナウンス不足、もっと観光スポットに。 ・ より一般の人にPRして良さを知らせてほしい。 <p>【観光に関する課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 観光資源として生かせばよい。 ・ 映画の撮影で使えるようなスポットとして残してもらいたい。 ・ 重要文化財と何かコラボしてイベントができれば素晴らしい。 <p>【その他の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本来の目的は大学である。

<西本願寺>

魅力	課題（改善ポイント）
<p>【ハード面に関する魅力】</p> <ul style="list-style-type: none"> 歴史的建物の迫力。 巨大な木造建築が素晴らしい。 国宝唐門が素晴らしい。 御影堂がすごかった。 国宝、重文など価値ある資産がたくさんある。 建物だけでなく門なども見応えがあった。 建物1つ1つが日本を代表、象徴する素晴らしさを持っている。 本山として誇れる建築物、信者が集まる魅力がある。 美しい建物群を外国人観光客も興味深げに見ていた。 <p>【歴史に関する魅力】</p> <ul style="list-style-type: none"> 歴史的な価値。 歴史を通して変わらない日本の教えが伝え続けられる。 歴史、エピソードが満載。拝観料を取っても良い。 伝統を力強く感じる。建物の古さに圧倒される。 <p>【集客力に関する魅力】</p> <ul style="list-style-type: none"> 年間140万人以上が参拝。 参拝（拝観）料不要。 →開かれた空間（ただし、宗教の場所）。 全体的にオープンになって入りやすい！ 誰でも自由に入ることができる。 外陣が広く取られており、ゆったりと見ることができる。 一般の人がたくさん参拝できてよい。 拝観料が不要。 <p>【その他の魅力】</p> <ul style="list-style-type: none"> おごそか、落ち着く、いやし。 広い、圧巻。 英語での案内。 幼稚園の隣接。素晴らしい場所にある。うらやましい。 	<p>【宗教性に関する課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 浄土真宗の門徒の寺のイメージが強い。 観光資源としては宗教との関係をどうするか？（特に外国人）。 門徒さんと観光客の区分が難しい。 自由に入ってよいのだが、入りづらい。 門徒以外の人にも入りやすくする。 <p>【ガイドに関する課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 入れるところと入れないところの違いがわからない。 事前に予約が必要なエリアがあるのはちょっと残念。 普段から見られたら良い。 書院等の国宝は参拝は事前申込制。 →文化財保護やむを得ない。 ガイドがあってこそ良い。 唐門などへの案内が少なくともわかりづらい。 唐門の説明、本日話された内容があればより魅力を感じる。 sign 西本願寺→ガイドがいないとサインか？ <p>【その他の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 身近な存在であることの工夫が必要。 観光客をもてなす建物が立派すぎて分かりにくかった。 総合案内所、龍虎殿、景観新しい。 ユニバーサルデザイン、バリアフリーの取り組みが必要。 大谷探検隊の活動を見える化。 （西洋と日本が会おう場）

- 案内の方が面白い。
- 堀川通からのアプローチとは違った入り方も良いと思う。

<龍谷ミュージアム>

魅力	課題（改善ポイント）
<p>【ハード面に関する魅力】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 建物やカフェがおしゃれ。 • 新しい美術館で館内が美しい。 • 外観のスタレのイメージが景観とマッチして良かった。 <p>【展示関連に関する魅力】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 仏教芸術の美術館は稀少価値がある。 • 開設されたことの意義が大きい。仏教、真宗の発信基地として。 • 一般の方が心を静めて学ぶ場となっている。 • 大学や西本願寺がもつコンテンツを伝える役割を実現している。 • 仏教に特化したところが個性的。 • ていねいな展示でゆっくり鑑賞できる。 • 価値ある展示物がコンパクトに見られるのがいい。 • 美術品として面白い展示物。 • 珍しい重要文化財が見られた。 • 仏像を間近に見られるのが良かった。 • 年配の方には興味深い展示物。 • 解説が易しくユニーク。専門知識が少なくても楽しめる。 • 飽きない工夫、イベント、イスの設置。 • きれい。ゆっくり見回れた。 • 見応えがある。 • テーマを自由に設定できる楽しさ。 • “絵解き”をするかたちで展覧会がひらかれていて、若い人や仏教などについてあまり興味がない人が関心をもてる内容だった。 • 宗教的な意味を除外すれば興味深い。 <p>【連携に関する魅力】</p> <ul style="list-style-type: none"> • いろいろ市として地域との交流があると聞いたが、よいと思う。 • 地域にも開かれた運営が行われている。 	<p>【情報発信に関する課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 入りにくい（PR不足？）。 • まだまだ知られていない。何はともあれPRを！ • アナウンス不足。企画展の周知を！ • 龍谷大学内でもっと宣伝すべき。 • アクセスがわかりにくい。若者への関心、説明の少なさ、降りる用の階段。 <p>【展示関連に関する課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 重厚過ぎて、ある程度の教養と知識が必要。 • 仏教がより身近に感じられる展示を希望する。 • 仏教にうとい観光客や外国人にも分かりやすくする工夫が必要。 • 展示スペースの照明が暗めに感じた。作品をもう少しはっきり見たい。 • 子ども連れには来づらい。 • 料金が高い？（仕方ないかもしれないが） • 観光資源としては宗教との関係をどうするか。（特に外人） • フィレンツェのフィレンツェカードのような街のミュージアムを見て歩けるパスがあれば良い。

<東本願寺>

魅力	課題（改善ポイント）
<p>【ハード面に関する魅力】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 巨大な木造建築が素晴らしい。 • 木ふすま絵、燈ろう、すべてが立派。 • 庭が素晴らしい。 • 歴史的建物の迫力。 • ユニバーサルデザインの工夫あり。 • 段差の配慮、バリアフリー、常時開放。 <p>【空間に関する魅力】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 駅前の近くなのに静けさに驚いた。 • 広い、圧倒的な大きさ。 • 広大な場所で座ってられるのが素敵だった。 • 庭、建物などにいやしを感じる。 <p>【集客力に関する魅力】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 本山としての収容力。 • 誰でも自由に入ることができる。 • 拝観料が不要。 <p>【その他の魅力】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 普通に行って仏教に触れられる場所。 • 歴史、エピソードが多い。 	<p>【ハード面に関する課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 段差、修繕工事、途中の中庭。 <p>【情報発信に関する課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 庭をもっと PR すればなお良い。 • 南端の堀のハスを、花が咲く時期に PR を。 • 東西本願寺の連携がもっとあると、仏教や京都の魅力をより発信できる。 • 閉鎖的であるように思われた。 (工事中だからか?) • 身近な存在であることの工夫が必要。 • 自由に入ってよいのだが、入りづらい。 • 浄土真宗の門徒の寺のイメージが強い。 • 門徒以外の人にも入りやすく。 • 観光客が中に入っていいことを知られていないのでは？

<京都駅ビル>

魅力	課題（改善ポイント）
<p>【玄関口・集客力に関する魅力】</p> <ul style="list-style-type: none"> 15年ですっかり京都の顔になった。 京都の玄関にふさわしい。 華やかな玄関口。 交通の便もよく、多くの方が集まってくる。 年間4000万人の来場者。 広い。集客力がある 近代的建物の迫力。京都駅そのもののメリット。 （集客） 色々なイベントが可能。 <p>【空間・設備に関する魅力】</p> <ul style="list-style-type: none"> スケールの大きさに驚く。若者にはとても魅力的。 若者、ファミリーが楽しめる空間。 迷路のような楽しさ。 大階段は色々な可能性が… いろんな設備があって楽しめる。 今日初めて見た施設が見られて良かった。 魅力ある店舗が集結している。 東側はあまり行く機会がないが、見るところが多くあった。 新しい発見をした。観光資源として活用できる。 ゆったりとした京都劇場は落ち着く。 イルミネーションなど新しいデザインを形にしている。きれいで良かった。 <p>【その他の魅力】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在の駅ビルしか見たことがなかったので以前の駅ビルが見られてよかった。 	<p>【広さ・空間利用に関する課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 大きすぎて全体がつかみにくい。 広すぎて迷路のよう。 お年寄りには厳しい。迷ったり、ころんだり。 未だ使い切れていないスペースが多い。 南側デッキの活用を（マルシェ等）、階段のLEDの活用、PRを。 空中経路の夜の演出（光を利用する等）。 東スペースが生かしきれていない。 <p>【情報発信に関する課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 東側の認知度が低い。 案内していただくと素晴らしい場所が多かったが、普段知らなかった。 <p>【その他の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 京都市民にとって今後どのように活用するのか。 緑とか花とか自然のやわらかさをもっと人の見えるところに出したらいいのではないか。 外の空気に触れていて、寒い、暑いなど感じた。長時間いるのは難しそうだ。 あまりにも人が多過ぎる。

<全体・その他のエリア>

魅力	課題（改善ポイント）
<p>【歴史・文化に関する魅力】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文化、歴史、人、結接点。 町名エピソード。 歴史的エピソード（本願寺さん）、京都駅も。 このエリアならエリマネ組織できそう。主なプレイヤーは西本願寺、駅ビル。 <p>【仏教に関する魅力】</p> <ul style="list-style-type: none"> テーマ、仏教という繋ぎでの可能性を感じる。 開かれる寺、大学、宗教の有する力が現代のニーズにマッチする。 説法も資源。 門徒と観光客。 <p>【ルート案に関する魅力】</p> <ul style="list-style-type: none"> 回遊のルート！複数ルート、目に入る！！ 「都市、街の中の Public Space（パブリックスペース）が魅力」→大宮学舎中庭→西本願寺前庭→龍谷ミュージアムの中庭。 映画上映の場所めぐり！ 京都駅起点丹波口まで。 東本願寺→西本願寺→嶋原 花屋町通。 <p>【その他の魅力】</p> <ul style="list-style-type: none"> 若い人に！ 	<p>【ハード面に関する課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> カンバンが目立たない。歩道の下にサインを！ <p>【連携に関する課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 点在するものをまとめるのは難しい。 魅力ある“要素”が一杯ある。有機的にどう結びつけられるか。 下京区 Public Space（パブリックスペース）のマップと魅力。 今回のエリアは魅力がいっぱい。マップを作るといい。 東西のつながりをもっと出せるはず。何かできないか。 両本願寺を繋ぐ道（ルート）にもっとにぎわいがあればよい。 西さんと東さんを繋ぐ道にもっと演出があればよい。 東西の違いがわかる一般的な説明があればよい（宗祖同じ）。東西で畳の敷き方が違うのは何故か。 正面通りが切れる。わかりにくい。つながる道がない、商店街。 <p>【その他の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 夜の明かり。

平成25年度の検討会議の活動内容等について（案）

年度		検討会議 (5回程度開催)	市民参加事業	その他の動き
25 年度	上半期	<ul style="list-style-type: none"> エリアの将来像等の検討 市民参加事業の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 市民の声を聴く事業 〔アンケート, アイディア募集 など〕 	<ul style="list-style-type: none"> エリアの現状等に関する基礎調査 市職員ワーキング・グループ会議
	下半期	<ul style="list-style-type: none"> 活性化に向けた方策等の検討 <p>検討結果報告書のとりまとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> エリア活性化のための事業 〔各施設等の主催イベントを時期を合わせて開催 など〕 	
26年度以降		<ul style="list-style-type: none"> 将来構想の策定 エリアマネジメント体制づくり 		